

# The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第7号

令和7年10月31日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今年も残り2か月になりました。今回は「仕事の報酬」について考えてみたいと思います。あなたにとってお金が一番ですか。仕事は何のためにするのですか？仕事とは何ですか？お金を稼がなくてはならないから嫌な仕事でもするのですか？簡単に稼げる仕事が良い仕事ですか？

価値観はいろいろあります。一つにこだわるのではなく、複数の価値観を持って、自分らしく生きていけることがいいですね。

仕事の報酬とは何か 田坂広志著 PHP の中から紹介します。(要約)

「**仕事の報酬とは何か。**」この問いに対して、いかなる答えをするか。それによって、これから歩むであろう道が、分かれる。もし、この問いに対して、「仕事の報酬は、給料や収入だ」と答えるならば、残念ながら、そのビジネスマンは大切なものが見えていない。

「仕事の報酬とは何か」と問われると、「給料」や「収入」というものを頭に描いてしまう。たしかに、それも「仕事の報酬」。また、「役職」や「地位」などを考えてしまう。たしかに、それも「仕事の報酬」。しかし、これらはいずれも「**目に見える報酬**」である。

しかし、仕事には実は、「目に見えない報酬」がある。「**三つの報酬**」である。

## 第一が「能力」

一生懸命に仕事をする、職業人としての「能力」が身につく。良い仕事を残そうとする努力を通じて、職業人としての「能力」が磨かれる。そのことは、まぎれもなく「仕事の報酬」である。

## 第二が「仕事」

一生懸命に仕事をする、良い「仕事」を残すことができる。職業人としての能力を磨くことによって、優れた「仕事」を残すことができる。それもまた、素晴らしい「仕事の報酬」である。

## 第三が「成長」

一生懸命に仕事をする、人間として「成長」できる。仕事の困難と悪戦苦闘し、仕事の仲間と切磋琢磨することによって、一人の人間として「成長」していくことができる。それは、ある意味で「最高の報酬」である。

そして、我々は「仕事の報酬」というものを考えるとき、「収入」や「地位」といった「目に見える報酬」ではなく、これらの「目に見えない報酬」に目を向けることが極めて大切である。

なぜなら、「報酬」というものには、二つの種類があるからである。

一つは、「自ら求めて得るべき報酬」

一つは、「結果として与えられる報酬」 この二つである。

例えば、「収入」や「地位」。これはそもそも「自ら求めて得るべき報酬」ではありません。良い仕事、優れた仕事を成したとき、「結果として与えられる報酬」である。

これに対して、「能力」「仕事」「成長」というのは、「自ら求めて得るべき報酬」である。仕事を通じて、それをいかに得ることができるか。それを日々、考え続けるべき報酬である。我々は、この二つの違いを深く理解しておかなければなりません。

これら三つの報酬を求めないかぎり、「仕事」の本当の喜びは決して得られないのである。

みなさんはどう考えますか？

第三の「**成長**」がキーワードだと考えます。

「どんな仕事をしようかな？」「自分らしく生きよう！」と考えたときに、「自分って何？」という問いが、一番難しいのではないのでしょうか。自分探しの旅(成長)=人生そのものという人もいます。結局、答えは自分が見つかるしかないのです。100人いれば100通りの生き方があっていいのです。

**迷えるからこそ、自分の価値観・生き方を作っていくために学んでいるのです。**テストに出るとか出ないとかではなく、学んでいるすべてのことに意味があり、血となり肉となっていくのです。進路決定もそうですが、進路が希望通りでなくても決まればそれでよいのでしょうか。自分を創り上げていくための人生を歩んでほしいです。

**習うより慣れろ**

物事は人に教わるよりも自分で直接体験していく方が身につくということ。

**思う念力岩をも通す**

実現不可能だと思われることであっても、集中して努力すれば実現することもある。